

県立岩瀬高等学校 衛生看護科 令和8年度 第55回 戴帽式

本校は、県立高等学校で唯一の5年一貫の看護師養成学科を有しています。
病院実習が本格的に始まる前に、看護師への道を確実に歩いていく決意と覚悟を示すため、下記のとおり戴帽式を実施します。
コロナ禍以降の実施形態を見直した、新たな戴帽式をぜひ、御取材ください。

記

- 1 日 時 令和8年6月5日（金）14:00～15:00頃
※ 終了時刻は進捗状況により前後します。
- 2 場 所 県立岩瀬高等学校 体育館（桜川市岩瀬 1511-1）
- 3 戴帽生 本校衛生看護科3年生 40名（男子1名、女子39名）
- 4 戴帽の儀 戴帽・キャンドル灯火・ナイチンゲール誓詞

今後、看護師として高度な知識と技術を求めつつ、ナイチンゲールが示した「看護の本質」や看護師としての高潔な品性を生徒一人一人が心に刻むことを目的としています。

- 5 その他 ・御取材いただける場合は、前日15:00までに下記へ御連絡ください。
・御取材にお越しの際は、13:45までに本校体育館受付に御来校願います。

【参考】

- ・ 戴帽式(Capping-Ceremony)は、中世ヨーロッパの修道院において修道女が神に仕えることを誓う儀式に由来するといわれ、近代以降、看護師養成においてナイチンゲールの精神を受け継ぐための儀式として発展しました。わが国では、慈恵看護専門学校(明治18年創設)で、布を渡し手製の帽子として被ることを許可したこと、聖路加高等看護学校(大正9年創設)で戴帽が行われたことが知られています。
- ・ 現在行われている戴帽式は、GHQの指導のもとで昭和22年10月に日赤看護専門学校において戴帽とキャンドルサービスなどの儀式が行われ、それを見学した人々が各地に伝えたものといわれています。
- ・ 戴帽式は、看護師という職業を選び、看護の基礎を習得した学生が、ナースキャップを戴く儀式です。そして、「ナイチンゲール誓詞」を唱え、高潔な看護師になることを誓います。

【本資料についてのお問い合わせ先】

県立岩瀬高等学校
看護科教頭 比氣 勝俊 TEL 0296-75-2475
E-mail hiki.katutosi@post.ibk.ed.jp